

# Knowledge Database Labs 企画書

## 株式会社ナレッジデータベース

2007年10月30日

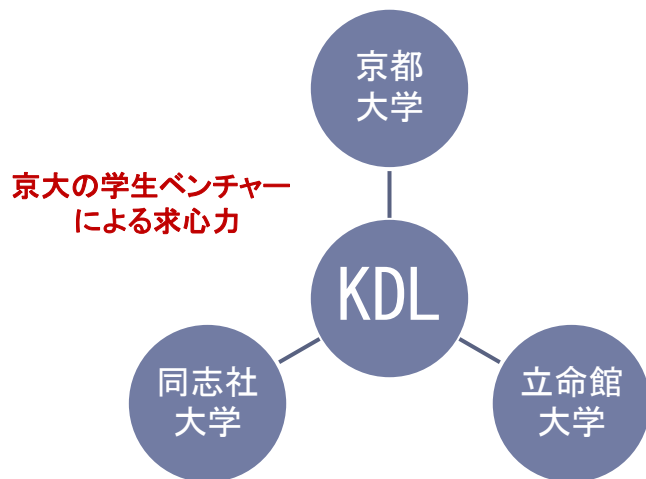
# 会社概要：株式会社ナレッジデータベース

会社名	株式会社ナレッジデータベース(英:knowledge database Inc.)
所在地	〒604-0924 京都市中京区一之船入町537リベルタス御池703
電話番号	075-212-7686
URL	<a href="http://it.kndb.jp/docs/company">http://it.kndb.jp/docs/company</a>
設立	2007年5月17日
経営理念	digital divideの解消
事業内容	1. WEBサイト・ナレッジデータベースの運営 2. WEBサイト投資業 3. ソーシャルデータベースサービス 4. SaaS 5. 検索アルゴリズム開発
役員	代表取締役 藤本貴士(京都大学農学部在学中、株式会社WISHLIST顧問) 取締役 瀬崎惇浩(京都大学院エネルギー研究科在学中) 社外取締役 成毛真(株式会社インスパイア代表取締役) 監査役 伊藤義一(元株式会社川島織物セルコン内部監査室長)
従業員数	8名
エンジニア	31名(請負契約・委託契約・アルバイト含む)

# Knowledge Database Labs(KDL)

**2007年11月15日開設予定**

ナレッジデータベースのエンジニアを中心に学生エンジニア専門のラボを開設。  
関西の優秀なエンジニアの受け皿として機能。



## 【提供サービス内容】

- ・開発スペースの提供
- ・開発環境・インフラの提供
- ・技術勉強会の開催
- ・IPA未踏プロジェクト参加支援
- ・ナレッジデータベースのサービス開発委託

→未踏プロジェクト参加者や技術者が多数参加

共同事業提案  
(JV/協業)



- ・大手企業
- ・ITベンチャー企業
- ・投資ファンド

→優秀なエンジニアが欲しい

## 共同事業のメリット

- ・技術者不足の解消
- ・採用活動も兼ねる
- ・東京よりも安価な開発コスト

## ラボの設置スケジュール

(2007年)

12月 出町柳ラボ開設(京大吉田そば)

12月 京大桂ラボ開設予定(KKVP内)

(2008年)

2月 同志社大学 京田辺ラボ開設予定(D-EGG内)

3月 立命館大学 BKCラボ開設予定(BVC内)

# KDL開設の背景

関西では・・・

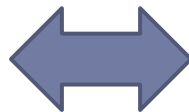
京都にはITベンチャーが少なく、技術力のある学生エンジニアが働く環境がないため能力をもてあましていく。

就職活動で技術力を評価する機会がないため  
非エンジニア職への就職も少なくない

関東では・・・

東京では慢性的な技術者不足が発生。  
エンジニアが欲しいが供給が追いついていない現状。

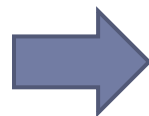
現状では関西の採用にも十分に手を出せていない



## 京都の優秀な学生エンジニアの実例

S君：京大院在籍  
プログラム歴5年、2004年NHKロボットコンテスト優勝者。  
K君：京大在籍  
プログラム歴7年、上級エンジニアの国家資格保有。  
M君：京大在籍  
プログラム歴6年、過去に趣味でWindows Mobileのアプリケーションを複数作成。  
F君：京大在籍  
プログラム歴5年、過去に多数のオープンソース作成プロジェクトに関わる。  
C君：京大院在籍。プログラム歴5年、過去に市販の株式自動取引ソフトウェアの開発に関わる。  
(株式会社ナレッジデータベースのアルバイトより抜粋)

→今まではせっかくの才能が埋もれてしまっていた



KDLへ  
採用/契約

京都の学生エンジニアが働く環境の  
事実上のデファクトスタンダード化

(メリット)

- ・優秀な人材の確実な発掘が可能
- ・才能を持つ人間の早期の育成開始
- ・大学の専門研究をビジネスに活かしやすい
- ・京都の技術系採用箇所の一元化
- ・大学との連携ベンチャーの活性化
- ・学生ベンチャーの活性化